

## 黒の奇跡・曜変天目の秘密

2025年4月5日(土)～6月22日(日)

中国陶磁の至宝、曜変天目。12～13世紀の南宋時代に作られ、世界に3点のみ現存し、全てが日本に伝わっています。多くの人々を魅了し続けているのは、漆黒の釉薬に浮かぶ虹色の光彩による謎めいた美しさでしょう。曜変天目はこの神秘的な輝きの他にも、製法や伝来などさまざまな謎を秘めています。本展では工芸の黒い色彩をテーマとして、刀剣や鉄鐺など「黒鉄(くろがね)」とよばれる鉄の工芸品や「漆黒」の漆芸品を紹介します。そして中国と日本の黒いやきものの歴史をたどりつつ、最新の研究成果をもとに、曜変天目が秘めるさまざまな謎と秘密にせまります。



国宝《曜変天目(稻葉天目)》  
南宋時代(12～13世紀)



《黒釉線彫蓮唐草文梅瓶》  
金～元時代(13～14世紀)



重要文化財  
野々村仁清《色絵吉野山図茶壺》  
江戸時代(17世紀)



重要美術品 源清麿《刀 銘 源清麿/弘化丁未年八月日》江戸時代・弘化4年(1848)

## 絵画入門 よくわかる神仏と人物のフシギ

2025年7月5日(土)～9月23日(火・祝)

前期7/5(土)～8/11(月・祝) 後期8/13(水)～9/23(火・祝) 前後期総入替

古美術のなかの神さま、仏さま、そして人の姿に注目する入門展です。物語や和歌を主題としたやまと絵に描かれた人物、神さまを表現した絵、禅宗の人々を中心に愛好された道教や仏教の偉いお坊さんなどを描いた絵、中国の故事を題材にした絵などをとりあげます。「この人は誰?」「このポーズの意味は?」「何をしているところ?」——神仏と人物が表されときの約束事や背景にあるストーリーを、やさしく紐解きながらご紹介します。



重要美術品《春日宮曼荼羅》南北朝時代(14世紀)右は部分図



国宝 因陀羅《禅機図》元時代(14世紀)



重要文化財《聖徳太子絵伝》鎌倉時代(14世紀)右は部分図

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)開催記念

## 修理後大公開！ 静嘉堂の重文・国宝・未来の国宝

2025年10月4日(土)～12月21日(日)

前期10/4(土)～11/9(日) 後期11/11(火)～12/21(日) 前後期総入替

静嘉堂@丸の内・開館3周年となる本展では、静嘉堂の東洋絵画の逸品が勢揃いします。大阪・関西万博2025にちなみ、20世紀初頭の博覧会に出品した岩崎家所蔵の光琳派や肉筆浮世絵、近代絵画などを皮切りに、国宝1件、重要文化財13件、博覧会出品作10件余りを一挙公開！そして未来の国宝！菊池容斎の破格の巨大絵画が丸の内に登場します。そのうち修理後初公開の重要文化財9件、重要美術品2件はいずれも室町時代の屏風や中国宋・元時代の貴重な作品です。筆墨の美や、見事な自然描写を、日中の作品を比較しながらご堪能いただけるのは静嘉堂ならではの。東洋絵画のメッセージを一步踏み込んで味わう機会となれば幸いです。



国宝 伝馬遠《風雨山水図》  
南宋時代(13世紀)



未来の国宝！  
菊池容斎《馮昭儀当逸熊図》天保12年(1841)



未来の国宝！ 修理後初公開！重要文化財 式部輝忠《四季山水図屏風》室町時代(16世紀)



パリ万国博覧会(1900年/明治33)出品!  
石黒是美《花鳥図 大小鐺・三所物》江戸時代(19世紀)



日英博覧会(1910年/明治43)出品!  
宮川長春《形見の駒図》江戸時代(18世紀)

## たたかう仏像

2026年1月2日(金)～3月22日(日)

前期1月2日(金)～2月8日(日) 後期2月10日(火)～3月22日(日) 展示替えあり

仏像のなかには、武装して目をいからせ、怒った表情を見せるものがあります。こうした仏像は、何のために、何とたたかっているのでしょうか。あるいは、何を護っているのでしょうか?本展では浄瑠璃寺旧蔵の十二神将立像(重要文化財)を中心に、武士と「たたかう仏像」の関係をご覧ください。また、神将像の鎧のルーツである中国・唐時代の神将俑を丸の内で初公開するほか、仏教絵画や刀剣等に表される多様な仏像の姿に注目します。



重要文化財 慶派  
《木造十二神将立像のうち寅神像》  
鎌倉時代・安貞2年(1228)頃



《加彩神将立像》 唐時代(7～8世紀)



《毘沙門天像》 鎌倉時代(13世紀)

基本情報

〒100-0005東京都千代田区丸の内2-1-1 明治生命館1階  
TEL 050-5541-8600(ハローダイヤル)  
https://www.seikado.or.jp  
X@seikadomuseum  
Instagram@seikado\_bunko\_artmuseum



明治生命館 外観



静嘉堂文庫美術館 ホワイエ

休館日：月曜日(祝日の場合は開館し翌火曜日休館) 展示替え期間 年末年始など  
開館時間：10:00～17:00 ※夜間開館あり。HPの展覧会ページをご確認ください(入館は閉館の30分前まで)  
入館料：一般1,500円、大高生1,000円、中学生以下無料  
障がい者手帳をお持ちの方:700円 ※同伴者1名無料

2025年度 静嘉堂文庫美術館(静嘉堂@丸の内)展覧会【広報作品画像データ申請書】		
ご申請先:静嘉堂文庫美術館 広報担当 大森 E-mail:press@seikado.or.jp Fax:03-6812-2870		
<p>&lt;画像使用全般に関する注意&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●展覧会名、会期、会場名などの開催概要のほか、指定表記、作家名、作品名、制作年、所蔵元を必ず掲載してください。</li> <li>●作品画像は全図で使用してください。原則として文字を重ねる、トリミングなど画像の加工・改変・部分での使用はできません(画像背景を削除するなど可能です)。雑誌の表紙などへの使用をご希望の場合はお問い合わせください。</li> <li>●概要など確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報担当までお送りいただきますようお願いいたします。</li> <li>●掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録DVDを広報担当へ1部ご送付願います。</li> <li>●所蔵、画像提供元はすべて静嘉堂文庫美術館です。</li> </ul>		
黒の奇跡・曜変天目の秘密 2025年4月5日(土)～6月22日(日)		
希望	指定表記・作家名・作品名	制作年/制作年代
	国宝《曜変天目(稲葉天目)》	南宋時代(12～13世紀)
	《黒釉線彫蓮唐草文梅瓶》	金～元時代(13～14世紀)
	重要文化財 野々村仁清《色絵吉野山図茶壺》	江戸時代(17世紀)
	重要美術品 源清麿《刀 銘 源清麿ノ弘化丁未年八月日》	江戸時代・弘化4年(1848)
絵画入門 よくわかる神仏と人物のフシギ 展示替えあり 2025年7月5日(土)～9/23(火・祝)		
	重要美術品《春日宮曼荼羅》全図/部分	南北朝時代(14世紀)
	国宝 因陀羅《禅機図》	元時代(14世紀)
	重要文化財《聖徳太子絵伝》全図/部分	鎌倉時代(14世紀)
2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)開催記念 修理後大公開! 静嘉堂の重文・国宝・未来の国宝 2025年10月4日(土)～12月21日(日)		
	国宝 伝馬遠《風雨山水図》	南宋時代(13世紀)
	菊池容斎《馮昭儀当逸熊図》	天保12年(1841)
	重要文化財 式部輝忠《四季山水図屏風》	室町時代(16世紀)
	石黒是美《花鳥図 大小罈 三所物》	江戸時代(19世紀)
	宮川長春《形見の駒図》	江戸時代(18世紀)
たたかう仏像 2026年1月2日(金)～3月22日(日)		
	重要文化財《木造十二神将立像のうち寅神像》	鎌倉時代・安貞2年(1228年)頃
	《加彩神将立像》	唐時代(7～8世紀)
	《毘沙門天像》	鎌倉時代(13世紀)
ご住所	〒	
社名/媒体名	社名	媒体名
ご所属/ご担当者名		
TEL/FAX	TEL	FAX
E-mail		
掲載号/発売予定日	月号( 月 日号) / 月 日発売予定 (発行部数 部) <input type="checkbox"/> WEBへの転載あり	